

2013 年度 研究センター事業報告書

研究センター名	立命館サステイナビリティ学研究センター
研究センター長名	中島 淳

I. 研究成果の概要 (公開項目)

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究センター5か年計画に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこなうことができるだけわかりやすく記述してください。

1. 外部資金による研究活動

- (1) 受託研究: ①受入先: 鹿島建設(株) ②研究代表者: 理工学部・教授 近本智行 ③研究課題: 「教室の環境と学習効率の調査・研究」
④研究費用: 2,195,000 円
- (2) 共同研究: ①国立大学法人 九州大学 ②研究代表者: 政策科学部・教授・仲上健一 ③研究課題: 「平成 25 年度環境研究総合推進費 (持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理方法の開発)」 ④研究費用: 389,000 円
- (3) 技術指導: ①指導先: NPO 京都・地球みらい機構 ②研究代表者: 政策科学部・特任教授・モンテカセム ③研究課題: 「平成 26 年度以降に実施予定である“気候変動が宇治茶に与える影響を研究する実証実験”に向けた事前調査」 ④研究費用: 160,000 円

2. 学内資金による研究活動

- (1) 資金名: 立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)/拠点形成支援型 R-GIRO 研究プログラム ①研究代表者: 理工学部・教授・中島淳 ②研究課題: 「水再生循環によるアジアの水資源開発研究拠点」 ③研究費用: 総額 80,000,000 円 (2013 年度 3,920,000 円)

3. プロGRESSレポート会議の開催 2013 年 5 月 27 日(月) 朱雀キャンパス多目的室(1)

3キャンパスにまたがる研究者の連携を促進し、先端研究の情報共有の目的のために開催。

竹濱 朝美「ドイツ風力発電・太陽光発電の給電データ開示制度および系統連系の実態」、銭 学鵬「竹を中心としたエコ産業開発に関する研究」、酒井 達雄「BKCグリーンビルの概要とビル発電システムの開発について」、朴 廷桓「Terra Green Network Project」、周 瑋生「東アジア低炭素共同体構想の具現化と政策工学の創成」、仲上 健一「水資源開発事業のサステイナビリティ評価」

4. RCS フォーラムの開催 2013 年 12 月 17 日(火) 於:BKC センtralアーク

「立命館を変える、未来に繋ぐ」として地球環境委員会との共催で実施。

理工学部近本智行教授による「OIC、グリーンビルディング・コンソーシアム事例報告」、佐藤圭輔講師による環境教育事例報告、立命館宇治高校「バングラデシュ支援プロジェクト」、立命館守山高校生「大川活用プロジェクトの取り組み」の活動報告。三重大学、ソニーのペーパーレス事例紹介。環境教育・研究部会東美江(教学部次長)、環境広報部会木田成也(総合企画部長)、APU 部会北村滋朗(アドミニストレーション・オフィス課長)、生徒・児童部会上杉兼司(一貫教育部長)、学生部会佐藤敬二(学生部長)、環境施設部会近本智行(理工学部教授)による、「立命館ペーパーレスの可能性」をテーマとした徹底討論会(コーディネーター: 仲上健一・政策科学部教授)。

5. 理工学部新棟内覧会の実施(グリーンビルディング・コンソーシアム) 2014 年 3 月 11 日(火) 於:BKC 理工学部新棟

企業と連携し環境関連の新技术を研究するグリーンビルディング・コンソーシアムの、研究・実験棟として完成した理工学部新棟(トリア)の内覧会を実施。

6. RCS シンポジウムの開催 2014 年 3 月 11 日(火) 於:BKC ローム記念館 5 階大会議室

R-GIRO「水再生循環によるアジアの水資源開発研究拠点」研究グループのねらいと構想を紹介する目的で開催。

中島淳「アジア太平洋地域における水・資源再生循環システムの提案に向けて」、近本智行「水資源を利用したグリーンビルの創造」、武田史朗「ランドスケープデザインと水再生循環システム」、仲上健一「アジアの水危機と水ビジネスの可能性」、銭学鵬「水再生循環の地域マネジメント」、天野耕二「上下水道システムのライフサイクル評価事例」、神子直之「紫外線を活用した水再生循環システム」、橋本征二・Cherry Myo Lwin「水再生循環に関わる資源循環システムのシナリオ」

7. エコプロダクツ展への出展 2013 年 12 月 12 日～14 日 於:東京ビックサイト

RCS の研究発信を目的とし、R-GIRO 課題内容、理工学部新棟における環境に配慮した設備等の解説、地球環境委員会の取り組みについてポスター発表を実施。

II. 研究業績（公開項目）

本欄には、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。（2014年3月31日時点）

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	周 璋生 中島 淳 仲上 健一 銭 学鵬	サステイナビリティ学入門	分担執筆	2013年4月	法律文化社	周璋生編	
2	周 璋生 銭 学鵬	Strategic Adaptation towards Water Crisis	共著	2013年6月	The University Press Limited	Edited by Prof.Dr.NAKAGAMI Ken'ichi, Mr. G. A. Choudhury, Prof. Dr.LI Jianhua Prof.Dr.FUKUSHI Kensuke	
3	仲上 健一	有斐閣経済辞典(第5版)	分担執筆	2013年12月	有斐閣	金森久雄, 荒憲治郎, 森口親司編、仲上健一	

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	中島 淳	The potential for decentralized reclamation and reuse of household greywater in peri-urban areas of Bangkok	共著	2013年	Water and Environment Journal(27巻)	Supattra Jiawkok, Suda Ittisupornrat, Chittima Charudacha	pp. 229-237	有
2	中島 淳	Iron Mixed Ceramic Pellet for Arsenic Removal from Groundwater	共著	2013年	Environ. Eng. Res.(18巻3号)	Md. Shafiquzzam, Md. Mahmudul Hasan, Jun Nakajima	163-168	有
3	中島 淳	Operational Factors in Membrane Bioreactors Using Simple Ceramic Filter	共著	2014年	J. Water and Environment Technology(12巻1号)	Md. Mahmudul Hasan and Jun Nakajima	65-75	有
4	周 璋生	習近平政権下における中国の環境政策の動向（特別寄稿）	単著	2013年	環境パートナーズ			無
5	周 璋生	Energy-Economic Analysis and Configuration Design of the Kalina Solar-OTEC System	共著	2013年	International Journal of Computer and Electrical Engineering	Faming Sun, NAKAGAMI Ken'ichi, Xuanming Su	pp.187-191	有
6	周 璋生	「東アジア低炭素共同体」構想と原子力安全保障システムの構築	単著	2013年	環境と健康		pp.162-174	無
7	周璋生、銭学鵬、仲上健一	Building Special Policy Zone for Reconstruction Management in Tohoku Area	共著	2013年	政策科学	Xuepeng Qian, Ken'ichi Nakagami	pp.25-37	無
8	周 璋生	Study on the Introduction of CO2 Emissions Trading System for Realizing East Asian Low-Carbon Community	共著	2014年	Journal of Policy Science Vol.8	Xuanming Su and Xuepeng Qian		有

9	周 璋生 錢 学鵬	「東アジア低炭素共同体」構想の具現化と「政策工学」の創成にむけて—R-GIRO 特定領域型プロジェクト「低炭素社会構築のための基盤技術開発と戦略イノベーション」の総括と展望	共著	2014 年 3 月	政策科学(21 卷 3 号)	任 洪波 蘇 宣銘、山崎雅人、伊庭野健造 孫 発明、加藤久明、芳賀普隆	pp.213-230	無
10	橋本 征二	Total material requirement to evaluate the potential for recyclability of phosphorous in steelmaking dephosphorization slag	共著	2013/10	Journal of Industrial Ecology	Eiji Yamasue, Kazuyo Matsubae, Kenichi Nakajima, Seiji Hashimoto, and Tetsuya Nagasaka	722-730	有
11	橋本 征二	Decoupling analysis of four selected countries: China, Russia, Japan, and the United States during 2000-2007	共著	2013/08	Journal of Industrial Ecology	Heming Wang, Seiji Hashimoto, Qiang Yue, Yuichi Moriguchi, and Zhongwu Lu	618-629	有
12	橋本 征二	Evaluation of material stocks, GAS and NAS for infrastructure in Japan : Moving towards a sustainable stock-type society	共著	2013/05	Journal of International Review of Civil Engineering	Cherry Myo Lwin, Hiroki Tanikawa, Seiji Hashimoto	118-127	有
13	橋本 征二	Resource management for carbon management: a literature review	共著	2013/04	Global Environmental Research	Seiji Hashimoto and Yuichi Moriguchi	39-46	有
14	近本 智行	既存オフィスビルで資産価値向上や低炭素社会につながる減築	単著	2013 年 4 月	BELCA NEWS(25 卷 143 号)		25-30	
15	近本 智行	Evaluation of Ventilated Performance of Monitor Roof in Residential Area based on Simplified and CFD Analysis	共著	2013 年 5 月	Building and Environment(63 卷)	Tomohiro Kobayashi, Tomoyuki Chikamoto, Keishi Osada	20-23	
16	近本 智行	既存賃貸集合住宅における部分断熱改修実験	共著	2013 年 6 月	日本建築学会技術報告集 (19 卷 42 号)	土井脩史・田嶋圭一・矢谷百代・生川慶一郎・近本智行・高田光雄	677-682	
17	近本 智行	夏期における外気温度変化が熱的快適性へ及ぼす影響に関する研究 (その 1~2)	共著	2013 年 8 月	日本建築学会大会学術講演梗概集 環境工学II	近本智行・伊藤紘一・小林知広	339-342	
18	近本 智行	夏期における外気温度変化が熱的快適性へ及ぼす影響に関する研究 (その 3) 実験概要と結果考察	共著	2013 年 9 月	空気調和・衛生工学会大会学術講演論文集(6 卷)	近本智行・小林知広・伊藤紘一	37-40	
19	近本 智行	吹出口形状の違いによる局所冷却性能の評価 (その 2) 通過熱量の変化要因に関する検証	共著	2013 年 9 月	空気調和・衛生工学会大会学術講演論文集(3 卷)	藤田理緒・近本智行・小林知広・橋本哲・西野淳・秋元孝之	145-148	
20	近本 智行	O 社 H 事業所の低炭素化改修工事 (第 2 報) 効果検証概要とエネルギー・室内環境の検証	共著	2013 年 9 月	空気調和・衛生工学会大会学術講演論文集(8 卷)	中嶋俊介・植田浩文・岡克己・福井浩二・近本智行・高山眞・宮崎亜由美	421-424	
21	近本 智行	O 社 H 事業所の低炭素化改修工事 (第 3 報) 行動観察を利用した省エネ設計とコミュニケーション	共著	2013 年 9 月	空気調和・衛生工学会大会学術講演論文集(8 卷)	岡克己・植田浩文・中嶋俊介・福井浩二・高山眞・	425-428	

		BEMS (BEICS)				宮崎亜由美・近本智行		
22	近本 智行	O 社 H 事業所の低炭素化改修工事 (第 4 報) 在室者検知を利用した温度設定制御と温冷感申告による温度設定制御	共著	2013 年 9 月	空調調和・衛生工学会大会 学術講演論文集(8 巻)	宮崎亜由美・豊村幸毅・高山眞・近本智行・植田浩文・岡克己・中嶋俊介・福井浩二	429-432	
23	近本 智行	O 社 H 事業所の低炭素化改修工事 (第 5 報) 夏期外勤者の帰社時における体内蓄熱の除去を目指したクーリングルーム運用の最適化検討	共著	2013 年 9 月	空調調和・衛生工学会大会 学術講演論文集(8 巻)	福嶋康旗・近本智行・水島大輝・植田浩文・中嶋俊介・福井浩二・高山眞・宮崎 亜由美	433-436	
24	赤堀 次郎	An Algebraic Approach to the Cameron-Martin-Maruyama-Girsanov Formula	共著	2013 年	Mathematical Journal of Okayama University(55 巻)	Jiro Akahori, Takafumi Amaba, Sachiyo Uraguchi	167-190	
25	赤堀 次郎	Tau functions of KP solitons realized in Wiener space	共著	2013 年	Bulletin of the London Mathematical Society	Hidemi Aihara, Jiro Akahori, Hiroko Fujii, Yasuhumi Nitta	published online	
26	赤堀 次郎	On a symmetrization of diffusion processes	単著	2013 年	Quantitative Finance	Jiro Akahori and Yuri Imamura	published online	
27	赤堀 次郎	Affine term structure as multi-soliton	共著	2014 年	JSIAM letters	Hidemi Aihara, Jiro Akahori, and Edouard Grenier	To appear	
28	赤堀 次郎	A Heat Kernel Approach to Interest Rate Models	共著	2014 年	arXiv:0910.5033	Jiro Akahori, Yuji Hishida, Josef Teichmann and Takahiro Tsuchiya		
29	赤堀 次郎	A Discrete-Time Clark-Ocone Formula and its Application to an Error Analysis	共著	2014 年	arXiv:1307.0673	Jiro Akahori, Takafumi Amaba, Kaori Okuma		
30	赤堀 次郎	A Probabilistic Bosonization of Fermionic Wiener Functionals using Stochastic Areas	共著	2014 年	preprint	Hidemi Aihara and Jiro Akahori		
31	赤堀 次郎	Asymptotic Static Hedge of a Timing Risk	共著	2014 年	preprint	Jiro Akahori, Flavia Barsotti, and Yuri Imamura		
32	赤堀 次郎	An Algebraic Approach to the Ramer-Kusuoka Formula	共著	2014 年	preprint	Jiro Akahori and Takafumi Amaba		
33	赤堀 次郎	The Fourier estimation method with positive semi-definite estimators	共著	2014 年	preprint	Jiro Akahori, Nien-lin Liu, Maria Elvira Mancino, and Yukie Yasuda		
34	赤堀 次郎	An Antisymmetric Malliavin Calculus	共著	2014 年	preprint	Jiro Akahori, Tomo Matsusita, Yasufumi Nitta, and Kazuhiro Yoshikawa		
35	竹濱 朝美	電力における消費者選択、再生可能エネルギーによる電力グリーン化	単著	2013 年 4 月	「流通動態と消費者の時代」、吉村純一、竹濱朝美編、白桃出版、8 章所収		159-189 ページ	

36	竹濱 朝美	ドイツにおける風力発電の給電データ開示制度と系統運用の現状	単著	2013年8月	『JWPA』（日本風力発電協会誌） http://jwpa.jp/2013_pdf/8-26tokushu.pdf(9号)		58-68	
37	竹濱 朝美	太陽光発電と風力発電にかかるドイツの給電データ開示制度：50ヘルツ区域の需給運用の現状	共著	2013年11月	太陽／風力エネルギー講演論文集（2013）[28-29 Nov.2013](Year 2013 巻)	竹濱朝美、齊藤哲夫	211-214	
38	竹濱 朝美	ドイツにおける大規模風力系統連系による柔軟な系統運用、給電データに基づく分析	単著	2013年11月	第35回・風力エネルギー利用シンポジウム（2013）（第35回巻）		319-322	
39	竹濱 朝美	欧州に於ける風力発電出力予測の利用	共著	2014年3月	電気学会全国大会講演論文集（H26年版、分冊6、系統運用・解析、系統機器・制御、開閉機器・避雷器、系統保護・制御装置）（H26年分冊6巻）	齊藤哲夫（風力発電協会）・竹濱朝美（立命館大学）・小西雅子（WWF ジャパン）	S18(17) - S18(20)	
40	仲上健一	水とサステナビリティ-特集の企画意図と期待	単著	2014年2月	水資源・環境研究(26巻2号)		24	
41	仲上健一	水資源開発事業とサステナビリティ評価-水危機に対抗する水資源・環境政策の構想にむけて	単著	2014年2月	水資源・環境研究(26巻02号)		25-26	
42	仲上健一	座談会 学会の成立経緯から展望する水資源・環境研究の課題と将来	共同	2014年2月	水資源・環境研究(26巻02号)	秋山 道雄（滋賀県立大学環境科学部）仲上 健一（立命館大学政策科学部）西田 一雄（株式会社滝下測量設計事務所）仁連 孝昭（滋賀県立大学地域共生センター）進行・高橋 卓也（滋賀県立大学環境科学部）	42-48	
43	仲上健一	サステナブル社会の設計と水資源環境政策	単著	2014年3月	政策科学(21巻3号)		3-18	
44	仲上健一	特集のねらい バイカル湖から見た湖沼環境保全	その他	2014年3月	環境技術(43巻3号)		1	
45	仲上健一	湖沼環境保全と持続可能な開発政策-バイカル湖・ラグナ湖・琵琶湖の比較を通じて	単著	2014年3月	環境技術(43巻03号)		2-8	
46	仲上健一	Possible pathways for dealing with Japan's post-Fukushima challenge and achieving CO2 emission reduction targets in 2030	共著	2014年3月	Energy, Available online 22 February 2014(22号)	Xuanming Su, Weisheng Zhou, Faming Sun, Ken'Ichi Nakagami,	90-97	
47	周 璋生 銭 学鵬	Building Special Policy Zone for Reconstruction Management in Tohoku Area, Japan	共著	2013年10月	Policy Science (21巻1号)	仲上健一	25-37	無

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	近本 智行	ヒューマンファクターと設備	2013年10月	第9回建築設備シンポジウム	
2	赤堀 次郎	Algebraic proof of anticipative Girsanov-Maruyama formula	2013年8月	ON QUANTUM INFORMATION THEORY AND RELATED TOPICS	

3	赤堀 次郎	A Modification of the Fourier Method	2014 年 2 月	Stochastic Processes and Mathemtical Finance	
4	赤堀 次郎	Japanese contributions to financial mathematics; a biased survey	2014 年 3 月	Kakuritsu-Kaiseki	
5	竹濱 朝美	Grid Integration Issues of Renewable Energy in Japan and Its Transparency of Grid Data	2013 年 8 月	18th REFORM Group Meeting Salzburg, http://www.polsoz.fu-berlin.de/polwiss/forschung/systeme/ffu/veranstaltungen/termine /downloads/13_salzburg/Takehama-Salzburg-2013.pdf http://www.polsoz.fu-berlin.de/polwiss/forschung/systeme/ffu/veranstaltungen/termine/13_salzburg.html	
6	竹濱 朝美	風力発電および太陽光発電の系統連系に向けた給電データ開示の役割	2013 年 10 月	日本消費経済学会, 第 38 回, 全国大会 (2013), 中央学院大学	
7	竹濱 朝美	ドイツ風力・太陽光発電の大量連系と給電・系統情報の開示	2013 年 12 月	第 47 回 CAPS 研究会, 京都大学経済研究所・先端政策分析研究センター (CAPS), 2013 年 12 月 4 日	
8	竹濱 朝美	Grid Integration of Wind and Photovoltaic Energy in 50Hertz Zone, Germany	2014 年 2 月	Experts' Meeting, Revision 2014 (Japan Renewable Energy Foundation)	
9	仲上 健一	水をめぐるホーリスティックアプローチ 統合的水管理・ガバナンス・コミュニティ	2013 年 4 月	第 1 回水管理・コミュニティ研究会	
10	仲上 健一	WIOD を用いた炭素の国際間移動に関する定量分析	2013 年 6 月	第 32 回エネルギー・資源学会研究発表会	芳賀 普隆 (京都大学)・周瑋生 (立命館大学)
11	仲上 健一	Lake Biwa Water Management & Strategic Conservation	2013 年 8 月	Limnological Institute SD RAS and JAWRE Meeting	Md. Shariful Alam Chowdhury, Zoynab Banu
12	仲上 健一	Morphological Changes and Hydro-Meteorological Risk Assessment Due to Climate Change Impacts at the Meghna-Lakhya River Systems, Bangladesh	2013 年 8 月	PRESCO 2013 The 2nd Pacific Rim Energy and Sustainability Conference	
13	仲上 健一	温泉学会創立 10 周年記念大会 「東アジアの温泉文化」、「大会趣旨説明」	2013 年 9 月	温泉学会創立 10 周年記念大会	
14	仲上 健一	「被災地で温泉文化を考える」	2013 年 9 月	温泉学会創立 10 周年記念大会	
15	仲上 健一	琵琶湖保全の環境価値と政策展開	2013 年 9 月	立命館大学琵琶湖研究センター 第 4 回シンポジウム「琵琶湖の「今」を知ろう」	
16	仲上 健一	コメント「ダム建設問題をめぐる合意形成とその課題— 設楽ダム計画を事例として— 蔡 佩宜・佐藤 真行・竜橋 一輝・ 植田 和弘」	2013 年 9 月	環境経済・政策学会 2013 年大会	
17	仲上 健一	Exploring Sustainability Evaluation Method of large water projects with GIS -The integrated water resources management of the Nile River	2013 年 10 月	2013 年度第 1 回 WPS 研究会	王斯蒙
18	仲上 健一	Egypt Chapter	2013 年 11 月	総合地球環境学研究所 C-09-Init 水土の知プロジェクト 全体研究会	
19	仲上 健一	サステナビリティ評価の理論と実践	2013 年 11 月	第 9 回政策情報学会研究大会	

20	仲上 健一	アジアにおける水・環境協力	2013 年 12 月	第 6 回中日韓民間交流論談	
21	仲上 健一	「水資源開発事業とサステイナビリティ評価」	2014 年 1 月	2013 年度第 2 回 WPS 研究会	
22	仲上 健一	Exploring Sustainability Evaluation Method of Large Water Projects with GIS -The integrated water resources management of the Nile River	2014 年 1 月	2013 年度第 2 回 WPS 研究会	王斯蒙
23	仲上 健一	エジプトの水資源計画のシナリオ分析と水資源管理政策	2014 年 2 月	エジプト水管理研究会	王斯蒙
24	仲上 健一	エジプト水資源計画のシナリオ分析の フレームワーク	2014 年 3 月	2013 年度第 3 回 WPS(水資源開発プロジェクトサステイナビリティ評価)研究会	
25	仲上 健一	アジアの水危機と水ビジネスの可能性	2014 年 3 月	20013 年度 R-GIRO 拠点形成型研究プログラム 「水再生循環によるアジアの水資源開発研究拠点形成」 第 1 回シンポジウム 「R-GIRO 水再生拠点形成のねらいと構想」	
26	銭 学鵬	水再生循環の地域マネジメント - 崇明島を事例として	2014 年 3 月	2013 年度立命館サステイナビリティ学研究センターシンポジウム「水再生循環によるアジアの水資源開発研究拠点形成」	
27	銭 学鵬	Water Cooperation Between Japan and China for Water Security Solutions	2014 年 2 月	Symposium on 'Mitigating Freshwater Conflicts in Asia: Harnessing Avenues for Cooperation'	周 璋生
28	銭 学鵬	東アジア環境分野連携の動き - 日中環境ビジネスから見る	2013 年 12 月	第 6 回日中韓民間フォーラム	
29	銭 学鵬	Study on Sino-Japanese Cooperation for Eco-Industrial Park	2013 年 6 月	7th International Society for Industrial Ecology Biennial Conference	周 璋生

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	RCS フォーラム	BKC キャンパス	2013 年 12 月	100 名	
2	2013 年度 RCS シンポジウム	BKC キャンパス	2014 年 3 月	10 名	

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）					
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間	
1	竹濱 朝美	サステナビリティと自然エネルギー 1、ドイツにおける太陽光発電普及策：再生可能エネルギー法の効果	サステナ（サステナビリティ学連携研究機構機関誌第 10 号 pp.52-55	2009 年 1 月～	
2	仲上 健一	地方自治体のリスクマネジメント	宇佐地域消防組合連絡協議会	2003 年 9 月 24 日～	
3	仲上 健一	水没する地球とウォーター・マネ	第 18 回水と暮らしの 110 番シンポジウム	2004 年 11 月 14 日～	
4	仲上 健一	「ウォーター・クライシスに対抗するウォーター セキュリティ - 水の商品化を問う -」	第 2 2 回 水郷水都全国会議 大阪大会/ 第 3 回市民による日本水フォーラム	2006 年 9 月 17 日～	
5	仲上 健一	地球温暖化対策と IPCC 第 4 次報告書	大分県地球温暖化防止活動推進員及び推進員候補者研修会	2007 年 6 月 8 日～	
6	仲上 健一	水需要と安全な水の供給システムについて～自治体の果たす役割	宇治市平成 22 年度建設水道常任委員会研修会	2010 年 11 月 16 日～	
7	仲上 健一	「水危機」への対応と新たな挑戦	第 53 回自治体学校 in 奈良・水分会	2011 年 7 月 24 日～	
8	仲上 健一	中国崇明島と水土の知	智の木協会ワークショップ	2011 年 11 月 8 日～	
9	仲上 健一	水危機に対応するウォーター・ビジネスの可能性	関西経済連合会・立命館大学『インフラビジネス講演会』	2011 年 11 月 29 日～	
10	仲上 健一	メコン河流域開発問題	参議院調査会「国際・地球環境・食糧問題に関する調査会」	2012 年 4 月 18 日～	

11	仲上 健一	水問題百科・現代水問題の諸相	川西市生涯学習短期大学 レフネック 19期生1年次水資源・環境学科 水と人と社会のあり方を探る 【水資源・環境問題とは】	2012年5月26日～
12	仲上 健一	日本・世界の水問題	川西市生涯学習短期大学 レフネック 19期生1年次水資源・環境学科 水と人と社会のあり方を探る 【水資源・環境問題とは】	2012年6月2日～
13	仲上 健一	サステナビリティと水資源環境概論	川西市生涯学習短期大学 レフネック 19期生2年次水資源・環境学科 水と人と社会のあり方を探る 【サステナビリティと水資源環境】	2013年5月25日 ～2013年5月25日
14	仲上 健一	サステナビリティと政策科学	川西市生涯学習短期大学 レフネック 19期生2年次水資源・環境学科 水と人と社会のあり方を探る 【サステナビリティと水資源環境】	2013年6月1日 ～2013年6月1日
15	仲上 健一	サステナブル社会の構築と国際貢献	初芝立命館高校地球市民学習高大連携企画 「地球市民講演会」 初芝立命館高校(大阪府堺市)	2013年6月20日 ～2013年6月20日
16	仲上 健一	水をめぐる対立と水道事業民営化の方向	大阪発、地域再生プラン研究会第12回研究会、 大阪グリーン会館 4F(大阪市)	2013年7月6日 ～2013年7月6日
17	仲上 健一	水危機への戦略的適応策	川西市生涯学習短期大学 レフネック 19期生2年次水資源・環境学科 水と人と社会のあり方を探る 【サステナビリティと水資源環境】	2013年7月20日 ～2013年7月20日
18	仲上 健一	『人工生殖を通じて技術の進歩と倫理との調和を考察する』人工生殖と政策科学	初芝橋本高等学校と立命館大学における高大連携プログラム、初芝橋本高校	2013年7月25日 ～2013年7月25日
19	仲上 健一	研究テーマの発見、研究の方法とまとめ方	川西市生涯学習短期大学 レフネック 19期生2年次水資源・環境学科 水と人と社会のあり方を探る 【サステナビリティと水資源環境】	2013年7月27日 ～2013年7月27日
20	仲上 健一	サステナビリティ研究最前線と展開	川西市生涯学習短期大学 レフネック 19期生2年次水資源・環境学科 水と人と社会のあり方を探る【サステナビリティと水資源環境】	2013年10月5日 ～2013年10月5日
21	仲上 健一	持続可能な水環境をめざして	第2回 水とくらしの110シンポジウム 近畿水問題合同研究会・大阪自治体問題研究所 共催 エルおおさか 708会議室(大阪市)	2013年10月5日 ～2013年10月5日
22	仲上 健一	水資源環境事業の構想と評価	川西市生涯学習短期大学 レフネック 19期生2年次水資源・環境学科 水と人と社会のあり方を探る【サステナビリティと水資源環境】	2013年10月12日 ～2013年10月12日
23	仲上 健一	水ビジネスへの挑戦と国際環境協力の新展開	宇部環境国際協力協会設立15周年記念講演会、宇部市シルバニアふれあいセンター	2013年10月26日 ～2013年10月26日
24	仲上 健一	水資源・環境学の体系 -水資源・環境講義のまとめと今後の展開	川西市生涯学習短期大学 レフネック 19期生2年次水資源・環境学科 水と人と社会のあり方を探る 【サステナビリティと水資源環境】	2013年11月9日 ～2013年11月9日
25	仲上 健一	地域経済と環境保全(1)	近畿大学産業理工学部 経営ビジネス学科・地域マネジメントコース「地域経済論」での講演	2013年11月12日 ～2013年11月26日
26	仲上 健一	地域経済と環境保全(2)	近畿大学産業理工学部 経営ビジネス学科・地域マネジメントコース「地域経済論」での講演	2013年11月19日 ～2013年11月19日
27	仲上 健一	地域経済と環境保全(3)	近畿大学産業理工学部 経営ビジネス学科・地域マネジメントコース「地域経済論」での講演	2013年11月26日 ～2013年11月26日
28	仲上 健一	水と人と社会のあり方を探る「研究成果発表」	川西市生涯学習短期大学 レフネック 19期生2年次水資源・環境学科 水と人と社会のあり方を探る 【サステナビリティと水資源環境】 川西市生涯学習センター(川西市)	2013年11月30日 ～2013年11月30日
29	仲上 健一	「立命館ペーパーレスの可能性」徹底討論会コーディネーター	立命館地球環境委員会第5回シンポジウム・立命館を変える、未来に繋ぐ・立命館大学 BKC キャンパスセントラルアーク	2013年12月17日 ～2013年12月17日

30	仲上 健一	今後の温暖化・エネルギー対策について ～世界の現状と日本の取組み～	カーボン・オフセット・マッチングセミナーin 北九州,北九州テクノセンター 会議室	2014年2月7日 ～2014年2月7日
31	仲上 健一	低炭素社会の実現に向けて ～都市環境を考える	2013年度 立命館大阪オフィス講座(人類の営みと環境保全を考える) 立命館大学大阪梅田キャンパス	2014年2月12日 ～2014年2月12日
32	仲上 健一	今後の温暖化・エネルギー対策について ～世界の現状と日本の取組み～	カーボン・オフセット・マッチングセミナーin 宮崎 みやざき県民協働支援センター会議室	2014年2月22日 ～2014年2月22日

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	橋本 征二	土木学会環境システム委員会	平成24年度優秀論文賞		2013年10月
2	仲上 健一	一般社団法人 海外環境協力センター	一般社団法人海外環境協力センター功労賞		2013年6月

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	中島 淳	簡易なセラミック膜を用いたハイブリッド型水浄化システムの開発と途上国への適用	基盤研究(C)	2012年	2015年3月	代表
2	赤堀 次郎	反対称なマリアバン解析の基礎理論の構築	挑戦的萌芽研究	2011年	2014年3月	代表
3	赤堀 次郎	次世代金融工学における熱核法の展開	基盤研究(B)	2013年4月	2018年3月	代表
4	竹濱 朝美	太陽光発電に対するフィード・イン・タリフ制の経済評価と統合的促進策の研究	基盤研究(C)	2011年	2014年3月	代表

8. 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	近本 智行	「教室の環境と学習効率の調査・研究」	鹿島建設(株)・受託研究	2013年7月	2014年3月	代表
2	仲上 健一	「持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理方法の開発」	平成25年度環境研究総合推進費	2013年5月	2014年3月	代表
3	モンテ・カセム	「平成26年度以降に実施予定である“気候変動が宇治茶に与える影響を研究する実証実験”に向けた事前調査」	NPO 京都・地球みらい機構・技術指導費	2013年8月	2014年3月	代表

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
1								

以上。